

# 平成11年 茨城県の人口

## 茨城県常住人口調査結果報告書

### 〔はじめに〕

この調査結果は、茨城県常住人口調査規則に基づき、市町村から毎月報告を受け、「茨城県の人口と世帯(推計)」(月報)等により公表した結果について、平成11年分をとりまとめたものです。

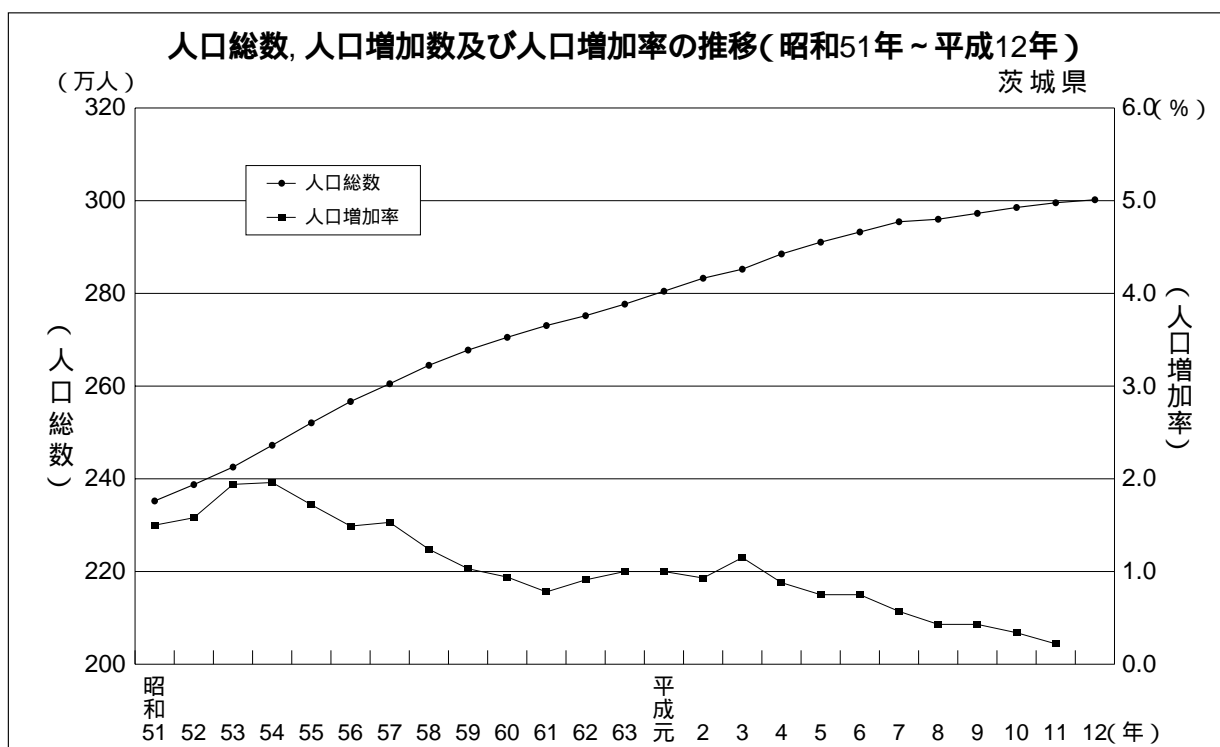
なお、平成11年茨城県の人口(速報)は平成12年2月10日に公表済みです。

### 平成11年における茨城県の人口

#### 1 総人口

本県の人口は、平成11年中に6,448人増加し、平成12年1月1日現在で3,002,001人となった。人口増加率は0.22%で、これを前年(増加数10,194人、増加率0.34%)と比較すると、数で3,746人、率で0.12ポイント下回っている。

H12.1.1 現 在 人 口	人口増加数 (前年比)	人口増加率 (前年比)	自然動態		社会動態	
			出生	死亡	転入	転出
3,002,001人	6,448人 ( 3,746人)	0.22% ( 0.12%)	28,649人	23,438人	138,035人	136,798人



(注) 人口総数は各年1月1日現在

## ■調査から

### 2 地域別人口

県内5地域別に人口増加をみると、県南地域が4,148人（増加率0.43%）で最も多く、以下、鹿行地域1,318人（同0.48%）、県央地域1,005人（同0.20%）、県西地域80人（同0.01%）、県北地域103人（同0.02%）の順となっている。

この結果、各地域の県人口に占める割合は、平成12年1月1日現在で県北地域（666,975人）が22.2%、県央地域（496,662人）が16.5%、鹿行地域（275,318人）が9.2%、県南地域（979,436人）が32.6%、県西地域（583,610人）が19.5%となっている。

	人口増加数	人口増加率	H12.1.1現在人口	H12.1.1現在県人口に占める割合
県北地域	103人	0.02%	666,975人	22.2%
県央地域	1,005人	0.20%	496,662人	16.5%
鹿行地域	1,318人	0.48%	275,318人	9.2%
県南地域	4,148人	0.43%	979,436人	32.6%
県西地域	80人	0.01%	583,610人	19.5%

### 3 市町村別人口

増加数の多い市町村をみると、つくば市（1,498人）が最も多く、以下、牛久市（1,366人）、ひたちなか市（1,306人）、龍ヶ崎市（1,177人）、土浦市（876人）の順となっている。増加率では、牛久市（1.91%）が最も高く、次いで龍ヶ崎市（1.56%）、神栖町（1.49%）、友部町（1.40%）、東海村（1.32%）の順となっている。

次に減少数についてみると日立市（1,238人）が最も多く、以下、取手市（573人）、藤代町（354人）、大子町（287人）、北茨城市（285人）の順となっている。減少率については、美和村（1.77%）が最も高く、以下、里美村（1.55%）、御前山村（1.52%）の順で、県北地域の町村が高い値となっている。

順位	上位5市町村		下位5市町村		順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	人口増加数	市町村名	人口増加数		市町村名	人口増加率	市町村名	人口増加率
1	つくば市	1,498人	日立市	1,238人	1	牛久市	1.91%	美和村	1.77%
2	牛久市	1,366人	取手市	573人	2	龍ヶ崎市	1.56%	里美村	1.55%
3	ひたちなか市	1,306人	藤代町	354人	3	神栖町	1.49%	御前山村	1.52%
4	龍ヶ崎市	1,177人	大子町	287人	4	友部町	1.40%	七会村	1.45%
5	土浦市	876人	北茨城市	285人	5	東海村	1.32%	桜川村	1.27%

注) 県平均は0.22%

#### 4 自然動態

平成11年中の自然動態は，出生児数28,649人，死亡者数23,438人で，5,211人（0.17％）の増加となっている。自然増加率は昭和40年代後半に1.14％に達していたが，昭和49年以降，ほぼ年々低下し続け，本年は0.17％と前年（0.22％）を0.05ポイント下回った。

自然増加率を市町村別にみると，千代田町（0.72％）が最も高く，以下，神栖町（0.70％），東海村（0.69％），つくば市（0.65％），ひたちなか市（0.59％）の順となっている。一方，自然減少率では七会村（1.10％），山方町（1.02％），水府村（1.01％）と県北地域の町村が高い値となっている。

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	自然増加率（％）	市町村名	自然増加率（％）
1	千代田町	0.72	七会村	1.10
2	神栖町	0.70	山方町	1.02
3	東海村	0.69	水府村	1.01
4	つくば市	0.65	里美村	0.91
5	ひたちなか市	0.59	桜川村	0.88

\* 県平均0.17％

#### 5 社会動態

平成11年中の社会動態は，転入者数138,035人，転出者数136,798人で1,237人（0.04％）の増加となっている。

社会動態は昭和42年まで転出超過であったが，43年から転入超過となり以後，今回まで続いている。転入超過率（社会増加率）をみると，44年以降では54年の1.08％をピークに平成11年は過去最低となった。

転入超過率の最も高い市町村は，桂村（1.62％）で，次いで牛久市（1.55％），龍ヶ崎市（1.34％），金砂郷町（1.32％），友部町（1.12％）の順となっている。一方，転出超過率の最も高いのは，美和村（1.10％），次いで，藤代町（1.06％），取手市（0.99％），日立市（0.97％），御前山村（0.96％）の順となっている。

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	社会増加率（％）	市町村名	社会増加率（％）
1	桂村	1.62	美和村	1.10
2	牛久市	1.55	藤代町	1.06
3	龍ヶ崎市	1.34	取手市	0.99
4	金砂郷町	1.32	日立市	0.97
5	友部町	1.12	御前山村	0.96

\* 県平均0.04％

## ■調査から

### 6 世帯数

平成12年1月1日現在の世帯数は989,681世帯で、平成11年中に14,915世帯増加しており、増加率は1.53%である。昭和40年以降の増加率をみると、昭和40年代には3%を超える年もあったが、50年代には2%台を示すことが多くなり、50年代末から60年代にかけては1%台で推移し、平成元年以降は5年連続して2%を超えていたが、平成6年からは再び1%台となっている。

世帯増加率と人口増加率とを比較すると、世帯増加率が人口増加率を上回って推移しており、平成11年においては、人口増加率(0.22%)を1.31ポイント上回っている。

このため、1世帯当たり人員も年々減少(10月1日現在比較)しており、今回は0.04人減少して、平成11年10月1日現在で3.04人となっている。

#### 世帯数増加率及び1世帯当たり人員の推移(昭和55年～平成11年) - 茨城県 -

年次	人口 増加率 (%)	世帯数 増加率 (%)	対前年比 (ポイント)	世帯数増加率		1世帯当たり 人員(人) (10月1日)	対前年比 (ポイント)
				世帯数増加率 人口増加率	対前年比 (ポイント)		
昭和55	1.72	2.29	0.65	1.33	0.17	3.69	0.17
56	1.49	1.95	0.34	1.31	0.02	3.67	0.02
57	1.53	2.13	0.18	1.39	0.08	3.65	0.02
58	1.24	1.87	0.26	1.51	0.12	3.63	0.02
59	1.03	1.50	0.37	1.46	0.05	3.61	0.02
60	0.94	1.56	0.06	1.66	0.20	3.59	0.02
61	0.78	1.53	0.03	1.96	0.30	3.57	0.02
62	0.91	1.78	0.25	1.96	0.00	3.54	0.03
63	1.00	1.90	0.12	1.90	0.06	3.51	0.03
64.平成元	1.00	2.19	0.29	2.19	0.29	3.47	0.04
2	0.93	2.25	0.06	2.42	0.23	3.41	0.06
3	1.15	2.77	0.52	2.41	0.01	3.36	0.05
4	0.88	2.26	0.51	2.57	0.16	3.31	0.05
5	0.75	2.08	0.18	2.77	0.20	3.27	0.04
6	0.75	1.99	0.09	2.65	0.12	3.23	0.04
7	0.57	1.88	0.11	3.30	0.65	3.20	0.03
8	0.43	1.72	0.16	4.00	0.70	3.16	0.04
9	0.43	1.76	0.04	4.09	0.09	3.12	0.04
10	0.34	1.69	0.07	5.18	1.09	3.08	0.04
11	0.22	1.53	0.16	6.95	1.77	3.04	0.04

注) 1世帯当たり人員 =  $\frac{\text{総人口}}{\text{総世帯数}}$

## 年齢3区分別人口（平成11年10月1日現在）について

### 1 年齢3区分別人口 茨城県

年齢3区分別人口の割合は、年少人口（0～14歳）が15.6%（469,201人）、生産年齢人口（15～64歳）が68.3%（2,049,454人）、老年人口（65歳以上）が16.0%（478,926人）となり、年少人口の減少率は2.0%、逆に老年人口の増加率は2.9%となった。

	H11.10.1 現在		人口増加数 （前年比）	人口増加率 （前年比）
	総数	割合		
年少人口	469,201人	15.6%	9,488人	2.0%
生産年齢人口	2,049,454人	68.3%	1,828人	0.1%
老年人口	478,926人	16.0%	13,338人	2.9%

### 2 年齢3区分別人口 地域別

年齢3区分別人口の割合を5地域別にみると、生産年齢人口割合は県南地域（70.6%）が最も高く、次いで、県西地域（67.7%）、鹿行地域（67.5%）の順で、老年人口割合は県北地域（17.4%）が最も高く、県南地域（14.0%）が最も低かった。

	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
	総数(人)	割合(%)	総数(人)	割合(%)	総数(人)	割合(%)
県北地域	105,324	15.8	445,482	66.8	116,122	17.4
県央地域	76,998	15.5	333,793	67.3	84,543	17.0
鹿行地域	44,890	16.3	185,335	67.5	44,307	16.1
県南地域	150,480	15.4	690,221	70.6	137,161	14.0
県西地域	91,509	15.7	394,623	67.7	96,793	16.6

### 3 年少人口割合

年少人口割合については、県平均で15.6%、市町村別にみると、守谷町（18.2%）が最も高く、以下、神栖町（17.9%）、三和町（17.5%）、江戸崎町（17.3%）、潮来町（17.1%）の順となっている。一方、最も低いのは利根町（11.6%）であった。

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	割合(%)	市町村名	割合(%)
1	守谷町	18.2	利根町	11.6
2	神栖町	17.9	荃崎町	12.0
3	三和町	17.5	霞ヶ浦町	12.8
4	江戸崎町	17.3	美和村	12.9
5	潮来町	17.1	桜川村	13.1

\* 県平均15.6%

